

# 米原駅東口構想を公表



# 米原市民報

日本共産党米原市会議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党湖北地区議員団  
事務局藤田正雄 Tel.55-1128

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

# 新たな市民負担は許されない

米原市東口の構想が公表されました。みずほ銀行を中心とした企業共同体を中心に法人を設立し基本計画を策定するとしています。以前もいくつかの構想はありましたが、事業主体をどうするのか等の基本的な実施段階でなかなかまとまらず、いつしか立ち切れとなるのが今までの経過です。これらの事業のつけが新たな市民負担を招かないようにしっかりと監視することが必要です。

## 公民連携でJR米原東口再開発が決まる

米原市はJR米原駅東口再開発で、みずほ銀行や滋賀銀行などの企業共同体「みずほコンソーシアム」と公民連携を進めることを決め、3月29日、共同体の代表企業、みずほ銀行と連携協定を結びました。ホテルや複合商業施設、観光農園や琵琶湖の魚を展示する淡水水族施設などを備え、2021年開業予定となっています。

市と県が所有する旧国鉄操車場の跡地約2.7ヘクタールを民間事業者主体で開発するもので、みずほ銀行などによると、「駅周辺まちづくり推進協議会」の会員ら10社で一般社団法人を4月上旬にも設立し、基本計画作りに入る予定です。なお、市は法人に参加するが、県は入らないとのこと。

## 「こんどこそ中心市街地として成功するのか？」

開発により、現在は通過している鉄道や国道8号の利用者を、年間40万人誘客できると試算しています。

一方で、参加企業などは現在募集中で、総事業費などは未定とのこと。平尾道雄市長は「米原は関西と中部、北陸をつなぐ拠点。滋賀の玄関口にふさわしい施設にしたべ、みずほ銀行の宮崎智史副頭取は「地方創生戦略の成功事例となるように」と抱負を語っています。

しかし、市民からは「淡とスキーム（基本構想）のこ

## 開発の基本構想は…

市は東口北側の市有地に、市役所統合庁舎を建設する計画を進めており、東口への中心市街地の形成は平尾市長の公約です。2015年には市の地方創生総合戦略として、建築家隈研吾氏が同地に「現代の宿場町構想」を提案しましたが実現には至りませんでした。

今回の基本構想では、木をふんだんに使ったホテルや最新の技術を活用した農園、地元食材を使った飲食

市役所統合庁舎を建設する計画を進めており、東口への中心市街地の形成は平尾市長の公約です。2015年には市の地方創生総合戦略として、建築家隈研吾氏が同地に「現代の宿場町構想」を提案しましたが実現には至りませんでした。

今回の基本構想では、木をふんだんに使ったホテルや最新の技術を活用した農園、地元食材を使った飲食



米原駅東口周辺まちづくり構想のイメージ図。中央の高層建築がホテル、「向右側が低層の商業施設など。区画の右側に米原駅、右端が市役所統合庁舎（滋賀県立大芦澤電一研究室・芦澤電一建築設計事務所提供）

## 雑感

「人には誇りつてのがある」愛媛知事、柳瀬前首相秘書官の発言に憤り、中村知事は記者会見で「一部の発言は愛媛県の信頼に関わる。一般論として真実ではないこと、極論で言えば頼り他人を巻き込むことになってしまおう」と話したと報道されています。自分の県の職員を信頼しての発言です。今回の柳瀬氏の発言は、安倍首相の加計学園獣医学部申請を2017年2月に初めて知ったとする「ウソ」から始まっています。また森友学園問題でも安倍首相の「私や妻が関わっていたら、首相も議員もやめる」といった「ウソ」発言から始まっています。ウソが発言はその数倍のウソを誘発し、国家を転覆します。日本国民は戦争中のウソで懲りたはずですが、